



山中温泉地区

・山中座・菊の湯

山中温泉の湯元にあり、女性的で優雅な建物。山中節の唄と踊りが鑑賞できるホールに、山中漆器の粋を極めた豪華な蒔絵の格天井があるロビーは、一見の価値あり。(山中座)

開湯1300年。当時から湯屋屋と呼ばれていた芭蕉ゆかりの地。施設前の「笠の露」にて源泉の飲泉と足の湯が楽しめます。(菊の湯)

・こおろぎ橋

かつては行路が極めて危なかったので「行路危」の称を生じたといい、また一説には秋の夜に鳴くこおろぎにもその名を由来するという。風雅な総ひのき造りの橋。山中温泉の代表的な景勝地で、浴客が必ず訪れるシンボリックな場所となっています。鶴仙溪のスタート地点。

・栢野の大杉

大聖寺川の上流、菅原神社の大杉は樹齢約2300年。天覧の大杉として知られている。神社前にある茶店の草だんこと共に欠かせないスポット。

昭和3年天然記念物指定。

スタート・ゴール
山中座・菊の湯

山中座・菊の湯

こおろぎ橋

芭蕉と歩く鶴仙溪・山中温泉ゆげ街道コース(3km)

山中座⇒ゆげ街道⇒こおろぎ橋⇒鶴仙溪遊歩道⇒黒谷橋⇒
本町通り⇒山中座

芭蕉と歩く鶴仙溪・山中温泉ゆげ街道チャレンジコース(8km)

山中座⇒ゆけむり健康村⇒栢野の大杉折り返し⇒平岩橋から菅谷方面⇒
百峰閣を過ぎて菅谷小学校交差点を温泉街方面へ(左折)⇒無限庵⇒
こおろぎ橋⇒鶴仙溪遊歩道⇒しらさぎ大橋を渡り桂木町方面へ(右折)⇒
塚谷西交差点左折⇒国道364号沿い⇒
医王寺より参道を通る(階段を降りる)⇒山中座

栢野の大杉

